

インセンティブスパイロ メーター（呼吸訓練装置）



容量（ボリューム）型：ボルダイン2500・ボルダイン4000



- グッド・ベター・ベストの指標付
- コンパクトで人間工学的なデザイン
- 持ち手付

ボルダイン2500

製品番号：8884719018
個包装あり、6個 / ケース

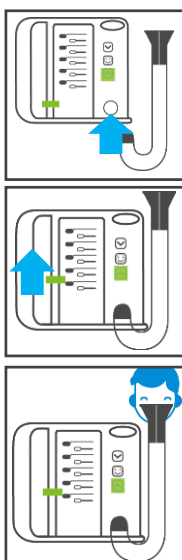
ボルダイン4000

製品番号：8884719016
個包装あり、6個 / ケース

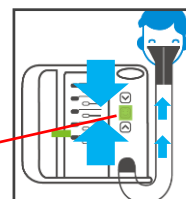
一般的名称：非能動型呼吸運動訓練装置
販売名：HUDSON 肺機能練習器
クラス分類：一般医療機器
医療機器認証番号：13B1X00062RSP003

使用方法

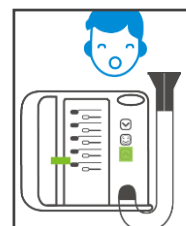
1. パッケージから本品を取り出し、本体正面にあるチューブポートへチューブの開口端を接続する
2. 本体側面にあるスライダーを、目標とする吸気量の位置まで動かす
3. 本体をなるべく垂直に保ちつつ手に持つか、水平な台に立たせる。自然に息を吐いてから、マウスピースをしっかりと唇でくわせる



4. ゆっくりと息を吸い込み、チャンバー内のピストンを上昇させる。このとき、緑色のフローチップが“笑顔マーク”の範囲にあるようにする



5. 息を吸い続け、目標とするスライダーの位置までピストンを上昇させる（ピストンの上部は吸気量を示す）
吸気が終わったら、マウスピースを唇から離し、所定の時間息を止めてから自然に息を吐く。ピストンをチャンバーの底へ戻す。休憩した後、練習を繰り返す
使用頻度および目標とする吸気量は、医師または医師の指示を受けた専門の医療従事者の指示に従うこと



インセンティブスパイロメーターとは

インセンティブスパイロメーターは、患者さんがマウスピースから息を吸い、吸気を持続することにより、患者さんの換気を改善するために使用します。チャンバー内でピストンもしくはボールが上昇することで吸気流量もしくは吸気量の目安を知ることができます

容量型と流量型

インセンティブスパイロメーターには容量型（ボリュームタイプ）と流量型（フロータイプ）の2種類があります
容量型はひとつのチャンバー内にピストンが設置されており、目標とする容量（設定したスライダーの位置）まで息を吸ってピストンを上昇させます。このとき、緑色のフローチップが“笑顔マーク”の範囲にあるように維持しながら吸います

流量型は3つのチャンバーに異なる色のボールが入っており、目標に合わせて息を吸ってボールを上昇させます。吸気流量によって持ち上がるボールの種類、数が異なります

インセンティブスパイロメーター（呼吸訓練装置）

流量（フロー）型：トリフローⅡ BREATHING EXERCISER



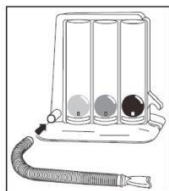
- ワイドな流量レンジ：600～1200cc / sec
- カラーボールがそれぞれ入った3つのチャンバー
- それぞれのチャンバーには最小流量が記載
- コンパクトなデザインで壊れにくいプラスチック

製品番号:8884717301
個包装あり、6個 / ケース

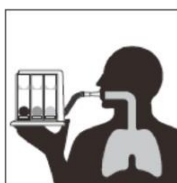
一般的名称：非能動型呼吸運動訓練装置
販売名：HUDSON 肺機能練習器
クラス分類：一般医療機器
医療機器認証番号：13B1X00062RSP003

使用方法

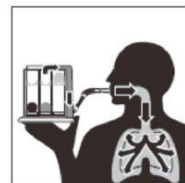
1. パッケージから本品を取り出す。本体下部にあるチューブポートへ、チューブの開口端を接続する



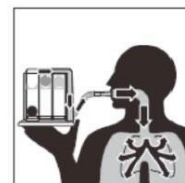
2. 本体をなるべく垂直に保ちつつ手に持つか、水平な台に立たせる。自然に息を吐いてからマウスピースをしっかりと言でくわえる



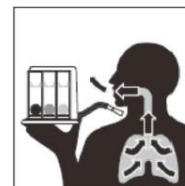
3. 少ない流量で練習を行う場合は、一番手前のチャンバーにあるボールのみが上昇するように息を吸う。このとき、二番目のチャンバーにあるボールは動かさないようにする。この状態を3秒以上維持するようにする



4. より多くの流量で練習を行う場合は、一番目と二番目のチャンバーにあるボールが上昇するように息を吸う。このとき、三番目のチャンバーにあるボールは動かさないようにする



5. 練習が終了したらマウスピースを唇から離し、自然に息を吐く。深呼吸をゆっくりとしてから休憩を取り、自然に呼吸をする。その後、医師または医師の指示を受けた専門の医療従事者の指示に従って練習を繰り返す



使用方法等に関連する使用上の注意

1. 本品は垂直に近い状態で使用する。使用場所については、医師または医師の指示を受けた専門の医療従事者の指示に従うこと
2. 肺機能訓練を一度行ったら、1分以上の休憩を取ること〔疲労と過呼吸の原因となる恐れがある〕
3. ボルダインを机の上に置いておく場合は、チューブのマウスピース側を本体上部の所定の位置に置くこと
4. 本品は垂直な状態で使用することで最大限の性能を発揮するが、患者さんが本体を垂直に保ったまま操作するのが難しいと感じた場合は、わずかに本体を前方に傾けて使用してもよい

製品及びご注文に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。



メドライン・ジャパン合同会社

東京都文京区小石川1-4-1 住友不動産後樂園ビル15階

www.medline.co.jp

TEL : 03-5842-8800 FAX : 0120-37-5801